

科目名	保育内容総論	教員名	坪井 龍彦	開講	保育科	2年次	前・後期																																
<p>・目的と内容</p> <p>社会の変化とともに教育の重点課題も変わっていく中で、いかに柔軟で弾力的な計画や指導を保育実践の中で行っていくことができるかが問われてくるので、指導計画をしっかりと立案し、子どもの育ちに合わせた系統的なプランを組み立てられるような実践力を身につけられるようにしていきたい。同時に子どもが育つ意味を多角的に考え、そのことに即応した教師の役割や指導はどうあれば良いかを見つけてもらう。</p> <p>幼稚園や保育園の中に発達障害と思われる幼児も見られるため、その幼児の理解と指導のあり方を考え、幅広い幼児理解につなげていきたい。</p>																																							
<p>・授業計画 [単位数：2 単位、授業週数：30 回]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>[前期]</th> <th>[後期]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 幼児にとっての幼稚園</td> <td>1. 家庭や他機関との連携の在り方</td> </tr> <tr> <td>2. 教師の役割</td> <td>2. 幼児の発達 1 (社会性)</td> </tr> <tr> <td>3. 幼稚園教育要領の改正に伴う保育内容</td> <td>3. 幼児の発達 2 (感情)</td> </tr> <tr> <td>4. 食育・子育て支援・特別支援教育</td> <td>4. 幼児の発達 3 (知覚・認知)</td> </tr> <tr> <td>5. 教育課程と保育内容</td> <td>5. 子どもの遊びの発達</td> </tr> <tr> <td>6. 教育計画の編成と立案</td> <td>6. 遊びの実際 1 (友達とかかわる遊び) VTR</td> </tr> <tr> <td>7. 教育課程、保育計画の実施と指導計画</td> <td>7. 遊びの実際 2 (障がいのある幼児の遊び) VTR</td> </tr> <tr> <td>8. 集団で育つこと (ルールのある遊び) (実践 1)</td> <td>8. 発達をつまづきと養育者・施設の役割</td> </tr> <tr> <td>9. 集団で育つこと (製作遊び) (実践 2)</td> <td>9. 発達のアセスメント</td> </tr> <tr> <td>10. 指導計画作成・長期 (年・学期)</td> <td>10. 発達的气になる幼児の理解と対応</td> </tr> <tr> <td>11. 指導計画作成・短期 (月・週・日)</td> <td>11. 障がい幼児の理解と支援</td> </tr> <tr> <td>12. 環境を通して行う教育 1 (動植物等)</td> <td>12. 障がい幼児の保育の進め方の配慮</td> </tr> <tr> <td>13. 環境を通して行う教育 2 (土・水・雪等)</td> <td>13. 幼小の連携と接続の問題</td> </tr> <tr> <td>14. 遊びと総合的な指導</td> <td>14. レポート試験</td> </tr> <tr> <td>15. まとめ (レポート)</td> <td>15. 問題の解説</td> </tr> </tbody> </table>								[前期]	[後期]	1. 幼児にとっての幼稚園	1. 家庭や他機関との連携の在り方	2. 教師の役割	2. 幼児の発達 1 (社会性)	3. 幼稚園教育要領の改正に伴う保育内容	3. 幼児の発達 2 (感情)	4. 食育・子育て支援・特別支援教育	4. 幼児の発達 3 (知覚・認知)	5. 教育課程と保育内容	5. 子どもの遊びの発達	6. 教育計画の編成と立案	6. 遊びの実際 1 (友達とかかわる遊び) VTR	7. 教育課程、保育計画の実施と指導計画	7. 遊びの実際 2 (障がいのある幼児の遊び) VTR	8. 集団で育つこと (ルールのある遊び) (実践 1)	8. 発達をつまづきと養育者・施設の役割	9. 集団で育つこと (製作遊び) (実践 2)	9. 発達のアセスメント	10. 指導計画作成・長期 (年・学期)	10. 発達的气になる幼児の理解と対応	11. 指導計画作成・短期 (月・週・日)	11. 障がい幼児の理解と支援	12. 環境を通して行う教育 1 (動植物等)	12. 障がい幼児の保育の進め方の配慮	13. 環境を通して行う教育 2 (土・水・雪等)	13. 幼小の連携と接続の問題	14. 遊びと総合的な指導	14. レポート試験	15. まとめ (レポート)	15. 問題の解説
[前期]	[後期]																																						
1. 幼児にとっての幼稚園	1. 家庭や他機関との連携の在り方																																						
2. 教師の役割	2. 幼児の発達 1 (社会性)																																						
3. 幼稚園教育要領の改正に伴う保育内容	3. 幼児の発達 2 (感情)																																						
4. 食育・子育て支援・特別支援教育	4. 幼児の発達 3 (知覚・認知)																																						
5. 教育課程と保育内容	5. 子どもの遊びの発達																																						
6. 教育計画の編成と立案	6. 遊びの実際 1 (友達とかかわる遊び) VTR																																						
7. 教育課程、保育計画の実施と指導計画	7. 遊びの実際 2 (障がいのある幼児の遊び) VTR																																						
8. 集団で育つこと (ルールのある遊び) (実践 1)	8. 発達をつまづきと養育者・施設の役割																																						
9. 集団で育つこと (製作遊び) (実践 2)	9. 発達のアセスメント																																						
10. 指導計画作成・長期 (年・学期)	10. 発達的气になる幼児の理解と対応																																						
11. 指導計画作成・短期 (月・週・日)	11. 障がい幼児の理解と支援																																						
12. 環境を通して行う教育 1 (動植物等)	12. 障がい幼児の保育の進め方の配慮																																						
13. 環境を通して行う教育 2 (土・水・雪等)	13. 幼小の連携と接続の問題																																						
14. 遊びと総合的な指導	14. レポート試験																																						
15. まとめ (レポート)	15. 問題の解説																																						
<p>・講義の進め方</p> <p>この講義では、保育者がどのように幼児の生活を共に創っていくのが大切であるかを理解させながら、実際に指導計画を作成し、評価の観点を押さえて子どもの生活をイメージできるようにしていきたい。</p> <p>保育のねらいや配慮に関することを実際の保育を想定して行ってもらい、進め方や提示の仕方、環境構成の仕方を学んでもらう。</p> <p>特に、子どもの発達に関することと、幼児の生活である遊びの持つ意味や教師の保育計画の立て方や評価について、具体的事例を基に学んでいただくようにする。</p> <p>発達的气になる幼児への対応や障がい幼児の実態の捉えや指導のあり方を行動療法的分析を交えて、具体的な事例を通して深めていく。</p>																																							
<p>・試験と成績評価</p> <p>出席状況とレポート及び試験での評価</p>																																							
<p>・担当教員から受講生諸君へ</p> <p>この時期はすでに保育所実習及び幼稚園実習も経験されていると思われるので、実際体験してきたことの中から疑問や課題をもって講義を聴き、一方通行の講義に終わらせないためにも意見や質問を出して、積極的に授業に臨んで欲しい。</p>																																							
<p>・使用教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回レジュメを配布し、必要に応じて参考文献を紹介する。 ・VTR を視聴させ、幼児の生活や遊びの実際を観察、分析する。 																																							